

支援者の皆様へ

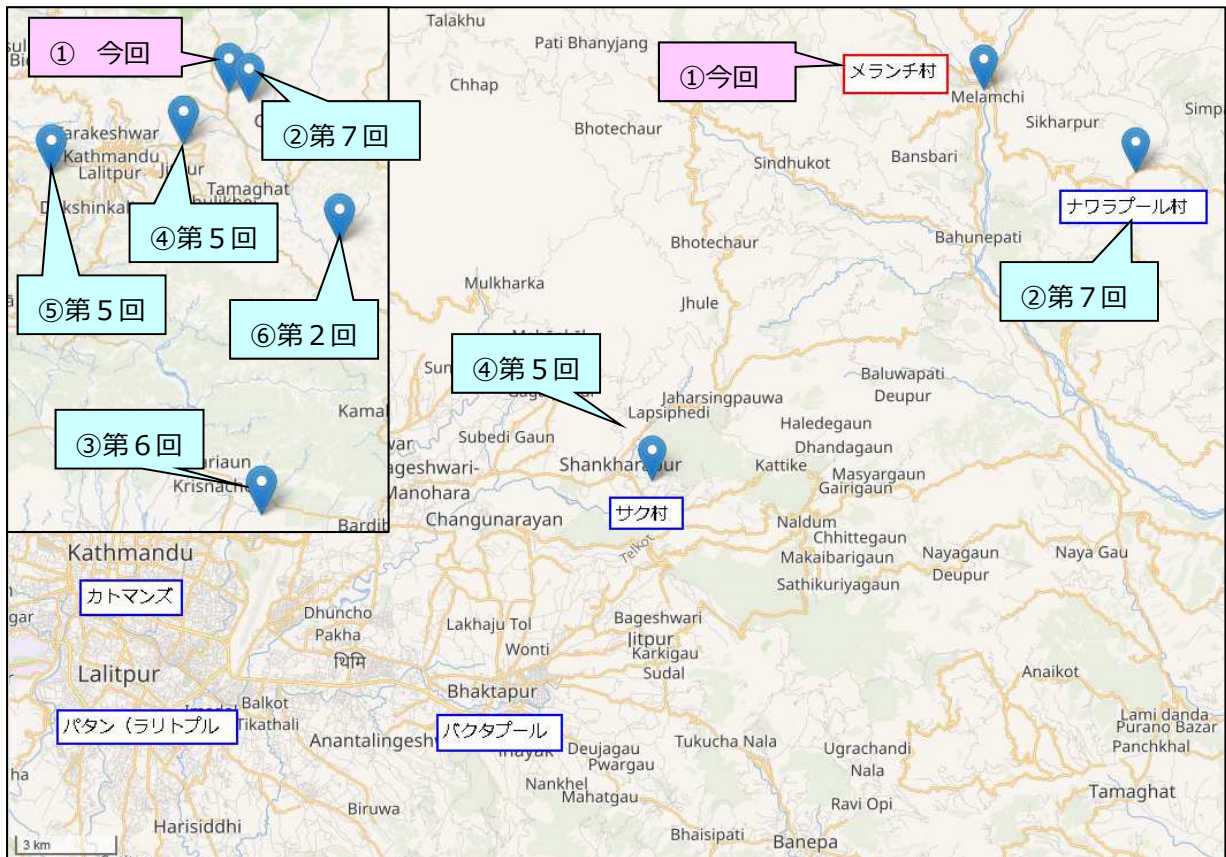
特定非営利活動法人 PIN Japan
事務局長 森本泰司

第8回 PIN Japan ネパール国際ワークキャンプ報告書

ネパール国際ワークキャンプ実施に際しては、いつもご協力をいただき感謝申し上げます。
おかげさまで本当に多くの方々のご協力・ご支援をいただき、第8回のワークキャンプも下記のように成功裏に実施することができました。下記のとおり概要をご報告させていただきます。
今年も引き続き年末にワークキャンプを計画しています。後日あらためてご案内を差しあげたいと思いますので、プロジェクト成功に向けてみなさまのご参加ならびにご協力をお願い申し上げます。

I. ワークキャンプ

【実施場所】ネパール国 シンドールパルチョック地方メランチ村(地図①：標高約 852m)
カトマンズから北東に小型バスで約4時間(休憩・食事時間含む)



【過去のワークキャンプ】(今回はサク村以外は訪問できず)

地図②：ナワラプール村(標高約 1592m) 第7回のプロジェクト(学校復旧支援)

地図③：バクティプール村(標高約 105m) 第6回のプロジェクト(飲料水掘り下げ・新設)

地図④：チットラン村(標高約 2240m) 第5回のプロジェクト(飲料水パイプライン復旧)

地図⑤：サク村(標高約 1500m) 第5回のプロジェクト(CO-OPハウス)

地図⑥：ラメチャップ村(標高約 990m) 第2回ワークキャンプ(学校修理支援)

※地図の位置および標高はいずれも iPhone で撮影した写真データに依る

【主催団体】 PIN Nepal(NGO), Basudev Prasad Memorial Foundation(NGO),
PIN Japan(NPO : 19 名参加)

【実行委員会】 村の人々、ティルガンガ病院の眼科医 (12 名)、カトマンズ・パタン・バクタプールの医療関係者 (医師 : 14 名、インターン、看護師、薬剤師)、
国境なき医師団 (検査技師)、ネパールボーイスカウト

II. プロジェクトの内容

1. フリー診療 (ヘルスキャンプ) および後日の手術

(無料診療で、診察・投薬・治療・入院・手術等日本で負担)

【実施日時】 2019 年 12 月 20 日～31 日 (ワークキャンプは 28 日～31 日)

【事業の受益対象者】 メランチ村の周辺地域住民

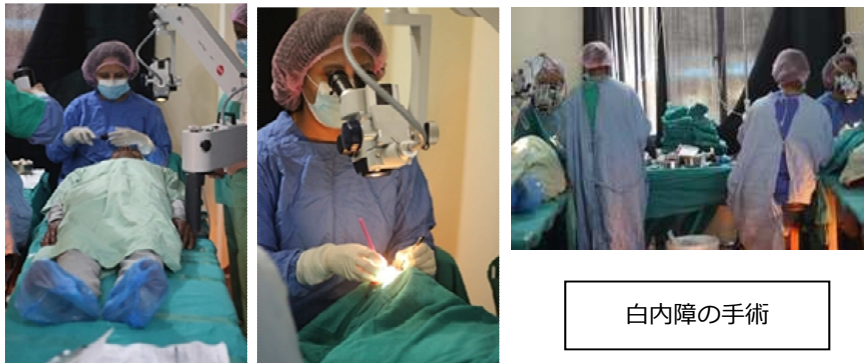
【収入】 日本チーム支援者より寄付・献金。ただし、他に地元のロータリークラブなどの協力多数。
他にスイスの NGO (Vision Himalaya Switzerland) の援助

【実施内容】 フリー診療

事前調査 : 1 週間かけて周辺 9 村の約 1,500 人を事前チェックし、眼科では白内障手術の必要
な約 150 人を抽出、その他では、約 2,200 人の受診希望者を把握

白内障手術 : 機材を持ち込み手術実施 (156 人) (ティルガンガ病院の眼科医)

その他 (小児科・総合内科・婦人科・耳鼻咽喉科) に関する患者は 422 人、うち結核患者 42 人。
いつものカトマンズの B.P.コイララ病院や国境なき医師団の医師を中心に診察・治療・検査。
老眼鏡をたくさんお寄せいただいたが、センターに在庫があり、別の村のために託す。



白内障の手術



手術翌日の検査



一般診察の順番待ちと診察風景



徐々に充実する検査と投薬

2. 仮設住宅建設支援

【事業の受益対象者】メランチ村の周辺地域住民

【収入】日本チーム支援者より寄付・献金

【内容】震災で住宅が破壊された村人の支援（韓国の NGO と共同で支援：12 戸分）
ただし、今回は時間的な都合で訪問できず、代わりに別途支援しているマジ村の仮設住宅を見学



今回は訪問できなかった韓国の NGO と共同で支援した仮設住宅（うち 12 戸分）
建物はできたけれど、寝具も足らず
土間に横たわる婦人。（写真右）
まだまだ、家具はもちろん、
食材も不足している状態。



マジ村の仮設住宅とトイレ。
仮設の中では炊事ができず、家の前のトタン小屋で

3. マザーテレサの老人ホーム支援

【事業の受益対象者】老人ホームの住人

【収入】日本チーム支援者より寄付・献金

【内容】毎年訪問して衣類などのプレゼントをしているが、今回は車椅子の要望があってプレゼント



マザーテレサの老人ホームとプレゼントした車椅子

部屋は明るく清潔で、全員の写真を壁に貼り付けていて、みんな大事にされているのが印象的

4. CO-OP ハウス追加支援（サク村：過去のプロジェクト訪問）

【事業の受益対象者】サク村の周辺地域住民

【収入】日本チーム支援者より寄付・献金

【内容】第5回のプロジェクトから取り組んでいるが、予想以上に工事が長引いている。

民族やカーストの問題から、新たに生活用水確保のためのパイプラインやタンク、水くみ場の確保があらたに必要になって、昨年度はそれらの支援。やっと隣まで水のパイプラインが来て、タンクとタンクを設置する置き台ができたところ。



タンクとタンクを設置する置き台。内装はまだ工事中

5. PIN チャリティバザー

【実施内容】

子どもたちの「シェルター」PIN ハウスは主に支援していたドイツの NGO の支援が受けられなくなり 2016 年 6 月末をもって閉鎖。子供たちはカトマンズから約 40km ほど西にある施設にお願いすることになりましたが、少しでも生活費・通学費・衣服費などを稼ぐために、現地の支援者を対象に日本から持参した古着等の販売するチャリティバザー（第 7 回目）を開催。

2017 年からは現地のボーイスカウトの協力も得られるようになり、今後の拡大が期待できる。



6. 村人たちとの交流

「ぶんぶんごま工房」と「あやとり教室」



診察の合間に子供たちに材料を持参した「ぶんぶんごま」の作り方・遊び方を教える。

老人も子どもたちに混ざって熱心にクレパスで色づけを楽しんでいた。

今年は新しくあやとりもレパートリーに

「ビンゴゲーム」

恒例のビンゴゲーム



景品は協力物資の衣類やお菓子など。

老若男女、カーストや民族に関係なく平等に！を实践するため、また勉強して数字が読めるとゲームが楽しめるという動機付けも兼ねて例年実施。今回は学校の子どもたちとハンディキャップを持った子どもたちも最前列で参加。

地元のガールスカウトも大活躍。

「キャンプファイヤー」



日本人も合唱やザクリの寸劇、ドジョウすくいなど披露

7. その他

「日本からの支援物資」



大量の支援物資の仕分けをホテルの一室で
大勢で取りかかり 1 時間足らずで完了
到着時 → 仕分け中 → 仕分けほぼ完了

「日本からのメンバ」



Ⅲ. 支援者・企業・団体 ご芳名（あいうえお順・敬称略）

ワークキャンプ以降にご協力いただいた方も含みます（今年末のワークキャンプで活用します）

《支援金》

BS 吹田 10 団
CBS 関西協議会有志
石川 典子
井上 重治
井上 喜美子
井上 洋佑
今村 愛喜
内野 貴之
株式会社 ウッズ
梅岡 孝治
梅岡 あい子
扇町教会
扇町教会 ぶどうの会
大西 和子
大西 光矢
岡崎 大悟
岡崎 道男
小澤 美代子
小田垣 佐智子
小田原 学
笠井 実
笠井 美貴子
笠井 大幹
加清 涼子
川端 弘己
川端 悦子
川端 溪太
一般社団法人
キョーエイグループ
倉本 實
小林 真二郎
小林 祐子
児林 秀一
児林 直樹
児林 深雪
児林 健太
児林 湖月
坂元 正武
坂本 辰子

柴 節子
武部 美和子
谷津 育子
戸谷 晃大
中川 秀次
中村 光子
中村 宜嗣
野中 治
林 清子
林 芙美子
林 牧
原田 敦子
桧垣 節子
廣岡 清美
廣野 亜樹
船橋 芳文
前地 隆裕
南甲府教会
南甲府教会 虹の会
森本 泰司
森本 茂子
山口 富子
山口 怜夏
山田 孝
山田 富美
山梨英和学院
山梨英和中・高校
山村 多恵子
山本 貴美子
山本 啓司
匿名希望

《支援物資その他》

秋吉 幸子
池長 進一
石川 典子
江間 明美
遠藤 登紀子
岡田 憲和
柏原 章雄
加藤 真知子
亀田 美津子
木下 美紀
公家 崇雄
小林 譲二
小林 直美
坂元 祐
坂元 美和
坂元 栞
坂元 詩子
佐川 紀子
信田 悦子
柴 節子
高野 博子
谷 ちえ子
谷垣 幸代
仲山 幸子
濱岡 千寿郎
濱岡 静子
林 美奈子
桧垣 節子
東浦 綾
山口 富子
山村 多恵子
山本 啓司
渡辺 久恵
ワークキャンプ参加者一同

以上